

第 3 回

江東区こども・子育て会議

会議録

平成29年3月23日

日時：平成 29 年 3 月 23 日（木）午後 3 時～5 時 00 分

会場：江東区文化センター 5 階 6・7・8 会議室

## 次 第

1. 開会
2. 議題 1. こども・子育て支援関係事業の平成 29 年度の予定について  
（報告）
3. 議題 2. 「こうとう子育てメッセ 2016」の開催結果について（報告）
4. 議題 3. 認可保育所における実費徴収について
5. その他
6. 閉会

## 会議資料

- 資料 1 こども・子育て支援関係事業の平成 29 年度の予定について（報告）  
【新規・レベルアップ分】
- 資料 2 「こうとう子育てメッセ 2016」の開催結果について（報告）
- 資料 3 認可保育所における実費徴収について
- 資料 4 平成 29 年度江東区こども・子育て会議の予定について（案）

## 出席者（敬称略）

### ○委員

氏名	所属団体等
榎田 二三子	学識経験者 武蔵野大学教授
藤巻 真由美	学識経験者 帝京学園短期大学教授
丸山 哲	福祉関係者 社会福祉法人そのえだ理事長 (江東区潮見保育園長)
塩崎 雅子	福祉関係者 グレース保育園長 (認可保育所移行経験事業者)
田浦 秀一	福祉関係者 株式会社グローバルキッズ取締役
杉山 恵美子	福祉関係者 株式会社ルーチェ取締役 (認可保育所移行経験事業者)
佐藤 貴子	福祉関係者 南砂子ども家庭支援センター センター長
秋山 三郎	福祉関係者 NPO 法人東京養育家庭の会川の手支部副支部長
光真坊 浩史	福祉関係者 こども発達センター塩浜 CoCo 園長
石塚 真姫子	保健関係者 東京都助産師会江東地区分会長
仲田 恵	教育関係者 区立幼稚園長会会長 (なでしこ幼稚園長)教育関係者
伊藤 真成	私立幼稚園協会代表者
北島 千絵	地域活動関係者 民生・児童委員
藤林 三穂子	公募委員

### <欠席委員>

小森 恵美 委員

前川 広宇見 委員

後藤 晶子 委員

### ○出席区職員

役職名	氏名	備考
こども未来部長	伊 東 直 樹	
障害者支援課長	山 崎 岳	
保護第一課長	川 辺 雅 嗣	
保健予防課長	鷹 箸 右 子	
子育て支援課長	堀 田 誠	
保育計画課長	河 野 佳 幸	
保育課長	石 井 康 弘	
学務課長	梅 村 英 明	
指導室統括指導主事	佐久間 浩 一	指導室長代理出席
放課後支援課長	遠 藤 幸 男	

### <欠席区職員>

なし

### <傍聴者>

1名

## 事務局連絡

堀田子育て支援課長	委員の出席状況について（小森委員、前川委員、後藤委員欠席）。 区職員の出席状況について（指導室長欠席により指導室統括指導主事佐久間が出席）。 配布資料の確認。 傍聴者について（1人）。
-----------	---

## 1. 開 会

榎田会長	委員の皆様にお忙しい中お集まりいただき、感謝する。 本日の会議は、会議次第に沿って進める。 質問等については、項目ごとに受けるが、会議の最後にも全体を通しての質問を受ける。 傍聴者への説明。
------	--

## 2. 議 題 1. こども・子育て支援関係事業の平成 29 年度の予定について (報告)

榎田会長	議題 1. こども・子育て支援関係事業の平成 29 年度の予定について（報告）は、前回の会議で平成 29 年度の当初予算編成時点での平成 29 年度のこども・子育て支援事業計画の取り組みについての考え方などの説明を聞き、今回は現在、江東区の予算案が区議会に公表されて審議されているところで、その予算案の中でこども・子育て関連の事業に関するものについて、新規とレベルアップのものを取り上げて報告を願う。 資料 1 について各課から報告ということで、それぞれの事業を所管されている課長から説明を願い、その後、個々に質疑と意見交換を行う。
堀田子育て支援課長	<資料 1、ページ 1 「協力家庭によるこどもショートステイ事業を導入」 ページ 2 「子ども家庭支援センターにおけるリフレッシュひととき保育事業の拡充」の説明>
榎田会長	質疑に移る。質問のある方の発言を願う。

秋山委員	1 ページの協力家庭によるこどもショートステイ事業について養育家庭の会から一言申し上げたい。会としてこの事業にできるだけ協力する。来月の会の総会で事業について子育て支援課から説明を受けることになっている。会員は、どちらかというと乳幼児から学齢期の前半の方が多いので、どこまで登録家庭として協力できるかわからないが、OBの方も含め、事業についてはできるだけ協力していく姿勢を持っている。
堀田子育て支援課長	ご協力ありがとうございます。今のショートステイは一般の区民も利用しているが、8割のお子さんが虐待を受けている、あるいは養育が困難であるという難しい背景を抱えている。今の施設は小学校 6 年生、12 歳までであるが、お子さんによっては毎月定期的に利用している方も結構いる。家庭の事情や虐待の関係で、時々、親元から離れた方が双方にとって良いということで、定期利用しているお子さんが結構な数いる。その中に、6 年生のお子さんが結構いるが、4 月以降、施設でのショートステイができなくなるため、協力家庭の中で 1 週間程度過ごしてもらおう事が良いだろうと考え、事業を始める。今後、養育家庭の会の皆様にもご協力を賜り、少しでも多くのお子さんがこの事業を利用できるように我々も努力していくので、よろしくお願ひしたい。

伊藤委員	ショートステイ事業について、説明にあった発達障害の方たちは、どういう家庭が引き受けるのか。料金は区が負担するのか。その場合の負担はどのくらいか、教えていただきたい。
堀田子育て支援課長	発達障害等難しい状況のお子さんについては、養育家庭に登録していただいた方の中でベテランの里親さんなど、その辺のケアに慣れている方をお願いすることになるかと思う。今後、長期的に育てていく事業なので、研修等を積んで、他の方でもできる方がいればマッチングをさせる形になろうかと思う。 料金については、本人から1日あたり3,000円を協力家庭員に支払ってもらい、区から協力家庭に1日あたり9,000円を支払うので、合わせて1日あたり1万2,000円の料金を支払う形で予定している。
光真坊委員	江東区子ども発達センターでは、障害のあるお子さん、若しくは気になるお子さんの支援をしているところなので、その観点で話をさせていただく。虐待のリスクとしては、発達障害は非常に高いという報告が出ているので、こういう事業を、非常に困難な状態になってから利用するのではなく、早い段階から利用できるというのは非常に良いことだと考える。ただ、指摘があったように、発達障害のお子さんの理解とか対応はある程度知識や経験が必要となる。その部分については研修を実施するとのことであるが、障害関係にも自立支援協議会の子ども部会等もあるので、ぜひ、一緒にやらせていただければと思う。
堀田子育て支援課長	発達障害についての基本的な知識、研修等々について、ご協力いただければ本当にありがたい。よろしくお願ひしたい。
杉山委員	リフレッシュひととき保育の空き状況の表示について、空き状況はネットで確認することができるとなっているが、予約は従来どおり電話、又は来所で行うということだと、現状と同じではないかと思う。画面で空き状況を確認したときに仮予約ができて、本予約は電話といった機能を望んでいるのではないかと思う。
堀田子育て支援課長	画面を見ただけでは予約ができなく、その後、電話しなければならないということで、今回については途中だという認識を持っている。空いている日が分かり、電話するという形なので多少は利便性がアップするかと思う。 リフレッシュひととき保育の希望者は非常に多いが、一方で定員が増やせない現状がある。予約システムを導入しても実際の予約に結びつかないということではサービスアップにつながらないので、定員増と予約システムの導入をセットで考えたいと思う。

榎田会長	保育計画課長に説明を願う。
河野保育計画課長	<資料1、ページ3「私立保育所整備事業」の説明>
榎田会長	質疑に移る。質問のある方の発言を願う。
各委員	特になし。

榎田会長	学務課長に説明を願う。
梅村学務課長	<資料1、ページ4「認定こども園の整備」の説明>
榎田会長	質疑に移る。質問のある方の発言を願う。

各委員	特になし。
-----	-------

榎田会長	放課後支援課に説明を願う。
遠藤放課後支援課長	<資料1、ページ5「放課後子どもプラン事業」の説明>
榎田会長	質疑に移る。質問のある方の発言を願う。

北島委員	<p>要望であるが、江東きっずクラブが全小学校で開始され、児童館の利用状況が減ってきているということなので、児童館を中高生の居場所と願いたい。それに当たっては、児童館という名前がどうなのかなというのがある。</p> <p>地区ジュニアリーダーズクラブが9地区あるので、9つの児童館をそのジュニアリーダーの活動の場にして欲しい。オリンピックもあるので、児童館で英語を習えるような講座を開いたらどうかと思う。</p> <p>また、中高生の居場所として児童館の活用を願いたい。中高生が児童館を利用するとしたら6時から9時の時間や土日の利用についても要望したい。</p>
秋山委員	<p>全校できっずクラブ、大変、結構なことであるが、内容の充実を願いたい。A登録が校内でなかなか実施し切れないと聞いている。</p> <p>青少年交流プラザの改装により、保育所もできたりして、スペース結局的には、減っている。中高生の居場所、活動の拠点の場を確保を願いたい。</p> <p>江戸川区は児童館をイキイクという形で、全年齢、こどもだけではなくてお年寄りまで交流する拠点にしている。千田児童館は福祉園と一緒に、異世代交流も活発である。そういった形で放課後支援課だけではなくて高齢福祉課や青少年課などと一体的、効率的に運営したらどうか。</p>
遠藤放課後支援課長	<p>児童館の利用者は、小学校にきっずクラブを導入したことによって確かに少し減ってはいるが、高学年を中心にたくさんの小学生が利用している。小学生以外の利用に関しては、特に午前中、小学校がやっている時間帯に関しては乳幼児タイムを設定して、乳幼児を連れた保護者が利用している。児童館で乳幼児も受け入れているということをしてPRしていきたい。</p> <p>中高生に関しては、公設民営になった児童館では7時まで開けており、多くの中高生が利用している。それ以外の児童館でも、日により、中高生タイムとして遅い時間まで開けている。</p> <p>児童館という名前は、今のところすぐに変えることは考えてないが、児童館というと主に小学生をイメージしたネーミングになっているので、今後の課題の1つであると思っている。</p> <p>青少年プラザのジュニアリーダーとの活動に関しては、確かに活用されていない部分があるので、今後の課題であると思う。</p> <p>オリンピック関連での英語講座に開催に関しては、英語を体験する講座を一部の児童館で実施しており、これからオリンピック・パラリンピックに向けて、英語だけではなく国際化をイメージしたイベントなどを考えていきたいと思う。</p> <p>中高生の居場所としての児童館の活用や土曜・日曜の利用に関しては、公設公営のところは日曜日の開館日は月に2回、第2、第4日曜であるが、公設民営となったところは第1、第3、第5とし、ほぼ毎週日曜日も開けている。今後とも利用していただける運営形態を考えていきたいと思う。</p> <p>きっずクラブに関しては、2年前倒しということで、平成29年度より全小学校で開設ということになった。ご指摘のとおり、一部の小学校では校内にB登録を開設するスペースがなく、近隣の学童クラブをきっずクラブ機能として実施している。今後、大規</p>

	<p>模改修や増改築があった時にきつずクラブのスペースを確保していきたいと考えている。</p> <p>福祉会館と一体になっている施設は、現在も交流事業を計画しており、指定管理として一体管理の運営になったところに関しては、今まで以上に交流ができているという報告もあるので、今後も検討して行きたいと思う。</p>
佐藤委員	<p>みずべは区内に5カ所しかないが、各センターで5年前ぐらいから出張広場というのをやっている。どのセンターも、みずべのないエリアでスポーツセンターとか集会所とかを使って月に4回ぐらい実施している。みずべが遠くて行けないという地域にこれからも何かできるように考えていきたいと思う。</p> <p>みずべではお年を召した方との交流というのがあまりないが、フラダンスとかハーモニカとかを子どもたちに披露して交流したいという要望があったので、それぞれの地域のセンターで今後も考えていきたいと思う。</p> <p>中高生の居場所ということでは、みずべで児童館みたいなことはできないが、ボランティアという形で、小さい子と遊ぶことで喜びや楽しさを感じ、良い体験になっているという中高生の声もあるので、ぜひ引き続き中高生のボランティアについても中学校などに手紙を配るなどアピールしていきたいと思う。</p>
伊藤委員	<p>民間の発想による柔軟な事業展開を行うということだが、具体的なことを聞きたい。先ほど、委員さんから児童館の中高生の居場所ということで、できれば英語などを教えて欲しいという意見があったが、区民から要望はあるのか。</p> <p>きつずクラブの子どもたちが帰る時はどうやって防犯関係をしているのか聞きたい。</p>
遠藤放課後支援課長	<p>民間への依頼に関しては、きつずクラブの運営を民間の法人に業務委託という形で依頼し、最低限やらなければならないことは指定しているが、各法人の独自性を出すことについてもお願いしている。</p> <p>英語教育に関しては、きつずクラブに関しましては英語の体験的な講座は行っているが、系統的な英語の習得という形までは行っていない。</p> <p>きつずクラブからの帰りに関しては、帰る時間が子どもによってまちまちなので、なるべく同じ方向の子どもを集め、気をつけて帰るように注意を促し、グループで帰るような指導をしている。6時までは子どもだけで帰るが、6時以降7時までのB登録で預かっている子どもに関しては父母の方に迎えに来ていただいている。</p>
伊藤委員	<p>民間に委託する際に、こういうものを作って欲しいというような依頼はしていないということか。</p>
遠藤放課後支援課長	<p>子どもたちを安全・安心に預かることを基本にしており、その中でイベント的なものとして、誕生日会やドッジボール大会などと例示をしている。また、独自のアイデアがあったらということをお願いをしている。</p>
石塚委員	<p>先ほど、児童館の乳幼児のアピールという話があったが、私たち新生児訪問に行っている者は、伺った時に児童館を紹介させていただいている。ただ、私たちも勉強不足で、児童館がどういうことをやっているかまで、わからないということがある。首が座ってからの参加になるだろうということと、小さな赤ちゃんだから、手遊びとかリトミックとかという話はあるが、もし何か、こういうものを行っていますというものがあるって、保健所でそれを渡してもいいという了解があれば、新生児訪問の時にお渡しすることは可能かと思う。</p>
遠藤放課後支援課長	<p>PRにご協力いただくのは非常にありがたい。教室とかイベント的なものもあるので、見学に来ていただいても構わない。赤ちゃんを連れて保護者の方が安心して遊べるようなスペースも提供している。イベントに関してはスケジュールをホームページ等に</p>

	アップしており、ご協力いただけるようであれば情報は提供させていただきたいと思う。
--	--

榎田会長	1の議題、全体を通して何かほかにあるか。
秋山委員	今、区内の小中学校は、学校公開とかの関係で開校していることが多い。また、運動会等イベントでも土日開校している。例えば、私が関係している学校でも、年間で七、八回、土、日曜日に開校している。今、公設公営の児童会館については、日曜日は2回休みだけれども月曜日は全休となっている。きッズクラブは月曜日でもやっている。そうすると、きッズクラブのために一般の生徒は児童館、児童会館に月曜日来られないという日は随分ある。保護者の方はそのために月曜日の仕事を休まないといけないといったことを聞いている。公設民営の館は月曜日もやっているの、非常に助かっており、ぜひともシフトを変えて、他の館でも月曜日をなるべく開けるような形を要望したい。
遠藤放課後支援課長	月曜日に関しましては、公設公営の場合、シフトの関係だけではなくて、人員が少ないということもあり職員の休日も確保していかなければならないという面ですぐには難しいものがある。公設民営の場合ですとできている面もあるのですが、どういう形で開けられるかは今後の課題とさせていただきたいと思う。

## 議題2. 「こうとう子育てメッセ2016」の開催結果について（報告）

会長	議題2、「こうとう子育てメッセ2016」の開催結果について（報告）の説明を事務局へ願う。
堀田子育て支援課長	<資料2の説明>
会長	質疑に移る。質問のある方の発言を願う。

秋山委員	養育家庭は養育家庭の体験発表会をさせていただいた。今までと違った階層の来場者も多く、文化センターの2階・3階のブースに子連れの方がたくさん見えて熱気があったと思う。来年度もできるだけ協力していきたいし、ますます盛んになるように頑張っていきたい。
仲田委員	公立幼稚園も参加させていただき、とても有意義だったと思う。1歳とか2歳の方たちが来てくれ、繋がりを付けることができた。幼稚園としてもすごく関連性ができたかと思う。ぜひ、来年度も参加したい。幼稚園としても保育園の待機児解消策を考えていきたいと思っている
堀田子育て支援課長	公立幼稚園、私立幼稚園には、当日ご協力いただき、ありがとうございました。待機児解消というお話があったが、今後、幼稚園も、ぜひ、検討の中に加わっていただきたいと思っている。

石塚委員	子育てメッセの件では、実行委員さんから一番最初に声をかけていただき、お産が終わった後にスムーズに母乳育児に取り組めるように乳房のことを話して欲しいとのことであつたが、当日、妊婦さんは少なく、1名だけだつた。私たちもそういう人がきつ多いのだろうと、メーカーに協力をいただき保護器等を用意していたのですが、全然、
------	--



	使う場所がなかった。もう少し妊婦さんを対象にさせていただき、妊娠から出産・育児へとつながっていただければと考えました。
堀田子育て支援課長	妊婦さん、確かに今回少し少なかったようです。我々としまでも、子育てメッセとは言っておりますけれども、実際にお子さんがある方だけではなく、妊婦さんも大歓迎ですし、これからお子さんを生みたいという方も大歓迎だったのですが、今後、妊婦さんに向けたPRを工夫する必要があるかと思っています。
光真坊委員	子ども発達センターも、区の障害者支援課の枠組みの中でステージ発表とブースを設け、参加させていただいた。本当に貴重な体験で、参加したメンバーも非常に元気になって帰ってきた。障害という切り口ではなくて、子育て支援という観点の中で障害のあるお子さんや発達のお子さんについて関わっていきたくて常に考えているので、今後もそういう形で関わられたらと思っている。良い事業なので、ぜひ、今後も続けていただければと思う。

### 議題3. 認可保育所における実費徴収について

榎田会長	議題3、「認可保育所における実費徴収について」の説明を事務局へ願う。
石井保育課長	<資料3の説明>
榎田会長	質疑に移る。質問のある方の発言を願う。

田浦委員	実費徴収は非常にわかりにくく、自治体によって実費徴収の考え方がばらばらで、保護者様のクレームにつながっている。別の市では、実費徴収について園から申請を上げさせているところがある。申請の手間は増えるが、保護者とのトラブルをなくすという意味で必要かと思う。
石井保育課長	各施設に対して実費徴収について調査を実施したが、施設によってばらつきがあった。今後、各施設と相談をしながら対応していきたいと考えているので、よろしく願いたい。

会長	全体を通しての質問・意見を願う。
田浦委員	情報共有の話があっが、現場の保育士や保護者の方は、子育て支援センターや児童館で実施されている行事を意外と知らないことが多い。区のホームページ等に記載があるのだろうが、現場の保育士や保護者に情報を届けるという形での周知の方法を検討願いたい。
堀田子育て支援課長	全ての保育施設に対しては、子ども家庭支援センターのイベント案内等は送っていないかもしれない。今後、どのような形で委員の言うような周知が図れるか検討していきたい。

#### 4. その他 資料4 平成29年度江東区こども・子育て会議の予定について(案)

榎田会長	資料4 平成29年度江東区こども・子育て会議の予定について(案)についての説明を願う。
堀田子育て支援課長	<資料4の説明>
榎田会長員	質疑に移る。質問のある方の発言を願う。
各委員	特になし

榎田会長	本日の会議の総括を藤巻副会長に願う。
藤巻副会長	<p>始めに、こども・子育て支援関係事業の平成29年度の予定について課長から報告があった。</p> <p>1点目、協力家庭によるこどもショートステイ事業を導入するという説明があり、それについて養育家庭の会から、OBも含め、今後、ぜひ、協力していきたいという意見があった。</p> <p>リフレッシュひととき保育の空き情報表示については。利用者の利便性を考慮し、空き状況を見るだけでなく、インターネットで申し込みができるようにしたらどうかという意見があり、予約システム向上については、今後、定員増とあわせて検討していきたいという回答があった。</p> <p>次に、平成29年度の認可保育所の整備計画については、待機児童の解消につながるよう、現在1,000人以上の定員増を計画しているとのことであった。</p> <p>有明北3-1街区に認定こども園を整備する旨、説明があった。</p> <p>放課後こどもプラン事業として、全小学校で江東きっずクラブを実施するとの説明があり、きっずクラブを全小学校で実施するようになると児童館の利用が減少してしまうのではないかとのご意見や中高生タイムの拡大をについて要望する意見があった。意見に対し、児童館は極端に減少しているわけではなくて、乳幼児の利用があることや中高生タイムも遅くまで設けている児童館について説明があった。今後も時間帯、内容及び児童館の名称について検討していきたい旨ということであった。</p> <p>次に、こうとう子育てメッセ2016の開催結果についてのご報告があり、次年度も区と団体との協働により実行委員会形式で実施していくということであった。委員からは協力的なご意見がたくさん出た。</p> <p>次に認可保育所における実費徴収について、実費徴収の可否、実費徴収が行われた場合の取り扱い、及び認定こども園2号・3号児童の取り扱いについての説明があった。</p> <p>最後に、平成29年度の江東区こども・子育て会議の予定についてご報告があった。</p>

榎田会長	事務局より事務連絡を願う。
堀田子育て支援課長	<p>27・28年度のこども・子育て会議の委員の任期が2年間で終了することに伴い、公募委員の藤村・後藤委員、公立幼稚園の園長会の代表の仲田委員及び公私立保育園の代表の小森委員の退任を報告。</p> <p>次回の開催予定、6月を伝える。</p> <p>事務局からは以上。</p>

榎田会長	任期満了する、藤林委員と仲田委員に挨拶を願う。
藤林委員	挨拶
仲田委員	挨拶

## 5. 閉 会

榎田会長	それでは、以上をもって本日の会議を終了する。 時間を延びての活発なご意見、お礼申し上げます。
------	---

以 上